

畦塗機使用のタイミング

実は意外と良いアゼを作れる時期やタイミングは多くありません。

稲刈り後10月～翌年3月くらいの間で(奈良県では11月～3月くらいに)

- ①圃場の土が土中(深さ10～15cm)も含め、ある程度乾燥していること
- ②土が乾燥しきっていてパサパサ過ぎてもダメ、少し湿り気がある方が良い
- ③畦の真下の地面は耕うんされていないのが望ましい(その土を畦に揚げるため)
- ④雑草が高く伸びていないこと(10cm以下くらいまでに)
- ⑤畦付近に切りワラや畦に雑草が少ないのが理想的

これらを踏まえたタイミングで行うのが良いとされており、この条件を満たして行える時期というのは意外と数えるほどしかありません。

よって、そのタイミングを逃すと土の揚げが良く締まりの良いアゼが出来にくくなるワケです。

12月から2月くらいまでは気温・地温が上がらず、場合によっては土も乾きにくく、雨が降らずとも圃場の土が凍って水分が逃げずに含んでしまっていることも多いです。

場合によっては3月4月くらいまで待ち、畦周りの草を刈ってから行うことも検討に入れておくべきでしょう。

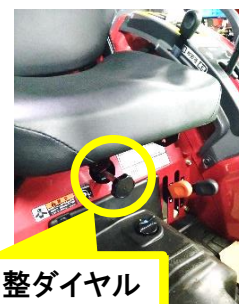
特に自身で畦塗機を持たずに、畦塗りを委託される場合においてはこのタイミングと条件を失ってしまって畦塗りが行われることも多く、満足のいくアゼが作れないケースが珍しくありません。(軟弱アゼ・崩れ・ひび割れ等)

畦塗機装着について

畦塗機を装着する際は安全作業のため、目一杯トラクタ前方にウェイト(おもり)を取り付けることをおすすめします。

また畦塗機はロータリに比べ、かなり重く後方に荷重がかかるため、ロータリと同じ油圧(作業機)降下速度では早く降りすぎるので、畦塗機装着の際は降下速度が少し遅くなるよう調整してください。(※ロータリに戻した際は、再度調整をしてください)

バンパーウェイト



作業機降下速度調整ダイヤル

